



【ロータリー特別月間】

12月は
疾病予防と治療月間

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 芳賀 裕
 ガバナー補佐 西川 博 美
 会長 千葉 政 行
 幹事 石川 邦 俊

- 1.人々が手を取り合うのを促そう。
 - 2.行動しよう。
 - 3.ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
 - 4.あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。
- 「復興フォーラム(仮称)」への支援と協力

2019 - 2020 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433
 ジャクター・ロータリークラブ(アメリカ・アラバマ州)

通 算

第22回 [2989] 例会報告 令和元年(2019)12月5日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	30名
欠席会員	9名
出席率	76.92%

- ◆開 会 点 鐘 千葉政行 会長
- ◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング〔奉仕の理想〕 服部裕一 会員
- ◆四つのテストの唱和 長谷部弘 職業奉仕委員

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

【12月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 12月7日 紺野靖子様(容樹会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 12月8日 村上 裕司 会員 ♪♪♪♪

lunch time



ロータリーソング 四つのテスト

◆会長あいさつ



前回は欠席して申し訳ございませんでした。山梨の方に行って参りました。神奈川でサントリーの工場を見学して、山梨でワイナリーとウイスキーの白州の工場を見て参りました。ちょっと気になる話題ということで、ユーキャンの流行語大賞が2日に決まりましたが、今年はラグビーの「ONE TEAM」が年間大賞だったそうです。あとは、国土交通省の「計画運休」や「軽減税率」、ゴルフの渋野日向子さんの「スマイリングシンデレラ」や「タピる」、女性のハイヒール問題の「#KuToo」、「〇〇ペイ」や「免許返納」、芸人の「闇営業」や「令和」など、あとは皆さんにとっての流行語大賞は何だったのでしょうか。これから「10大ニュース」もありますから、今年一年間を振り返って、自分の中の10大ニュースなんかもあるかも考える時間もあるといいのかなという気がしております。

バッチ
四つのテスト贈呈



《新会員挨拶 齋藤 等会員》 今月より正式に入会いたしました齋藤と申します。宜しくお願ひいたします。私は平野に来て約12年になりますが、石川幹事さんから以前より誘われており、千葉会長さんとは二十数年前に保原でお会いしておりました。現在の会社は30歳の時に作って25年目です。この会を通じて、皆様と色々なお勉強をして、なおかつ、楽しい活動をしていきたいと思っておりますので、皆様、宜しくお願ひいたします。

◆副幹事報告 齋藤孝裕 副幹事

- A. 月 信 「ロータリーの友」12月号 「ガバナー月信」 12月号 No.6
 B. 来 信
- ①福島東ロータリークラブより
「創立45周年記念式典及び祝賀会の案内」
と き 2月21日(金) 17:00~
と ころ クラークリアンテサンパレス
 - ②福島北ロータリークラブより
「クラブ新年会の案内」
と き 1月21日(火) 18:00~
と ころ クラークリアンテサンパレス



【本日のランチ】

◆ロータリー情報委員会からのお知らせ 佐藤真也 委員長

今月のロータリーの友とガバナー月信がお手元に届いていると思います。ガバナー月信は地区の活動報告や年間のスケジュールが載っておりますので、今後のスケジュールなどをご確認下さい。また、ロータリーの友の17ページには県北第二分区の西川ガバナー補佐が載っておりますので皆様ご一読下さい。

◆スマイリングBOX 中島定宏 委員長 【合計3-23】

- 佐藤喜市郎会員 H 齋藤様の入会を祝して 前回欠席おわび
- 千葉 政行会員 S 前回欠席おわび
- 菅野 浩司会員 S 二瓶会員のスピーチ楽しみにしております。 前回欠席お詫びとして。
- 齋藤 孝裕会員 S 本日、石川幹事のピンチヒッターですすみません。
- 鈴木 重忠会員 S きょうゴルフコンペで優勝いたしました。
- 佐藤 真也会員 T 齋藤等新会員の入会を歓迎して 二瓶先生のスピーチ楽しみにしています。
- 鈴木 義明会員 T 前回欠席おわび
- 西條 博之会員 T 遅刻おわび



スマイリング報告

◆ 会員スピーチ

二瓶 貢 会員



今回は何のお話をしようか考えてきたのですが、生命の誕生の話が前回の話の内容で、日本人はどこから来たのかというのが今日の話のメインになります。日本人の祖先はアフリカから来たわけですが、その途中の中国の越、呉、楚が山東半島に上がってくるというのを前にお話ししていると思います。結局、アフリカにいた我々の祖先が中国に来て、中国の長江から黄河に来て、それから、朝鮮半島に行ったり、日本に行ったり、要するに越や呉や楚は船を使うのが上手かったので、海を渡ってこられるのです。これが我々の弥生時代を開いた、いずれは日本人になる中国人です。今日のお話は**なぜ日本人の先祖がアフリカから来たのか**ということですが、一番の疑問はなぜアフリカなのか。今でいうと初期の人類がアフリカに登場したのは500万年前です。25万年前に現在の私たちの直接の祖先と考えられる最初のホモ・サピエンスがアフリカ東部に誕生します。7万年前に地球最後の氷河期が襲来し、人口2000人までに減少しました。5万年前には新しい物を生み出す創造主たる脳を手に入れます。衣服と糸と針を発明し、重ね着という優れた防寒法を考案します。2万年前の人口は200万から500万人。1万5000年前、寒気が次第に緩んで針葉樹林が広葉樹林に変化し、ピスタチオが大量に収穫されます。ドングリに依存した定住生活は2000年続き、ドングリの森の高地には山羊、低地には羊が生息していました。これらの草食動物を捕まえて、直ぐに食べていましたが、その後、非常時の食料としました。家畜はLive stock（生きた貯蔵庫）となりました。そういう発想が出てきたのです。ドングリの森を離れて、平地に向かった人たちはメソポタミアの無人の平野で、一面に広がる小麦の自生地を目にしました。小麦を家畜のエサとして見ていた人は、麦芽糖の甘さに驚愕します。小麦の胚乳はデンプンを主成分に発芽する際に、胚乳自身がアミラーゼを作ってデンプンをブドウ糖に変えます。そうするとすごく甘いのです。そのブドウ糖に魅了されたのが当時の人だったのでしょうか。今までは連れて歩いていた羊などが小麦を食べていたのですが、人間も美味しい物だと自覚して、結局、ブドウ糖を食べるのは美味しいとなり、1万2000年前に小麦の栽培が始まります。その当時の人口が500万人から1000万人です。小麦の培養がなければ、米の培養は無かったということです。当然、東南アジアに来れば麦は栽培できなくなるし、それに代わって米になるわけです。米を栽培した中国にいた呉とか越の人は、米を持って田んぼに植えて食べていた。そういう人達が日本に入ってきました。

なぜアフリカなのか考えると、なかなか難しいのですが、今でいえばこんなに寒くないのだから、アフリカだろうが、日本だろうが、どこでも食べる物さえあればいられますが、当時は食べる物が無くて、自分で食べる物を作るわけではなく、自然にある物を食べるだけなので難しかったのではないのでしょうか。小麦の甘さに惹かれた人たちの栽培が始まって、人間が自分で食べる物は作って食べることになり、食料が豊富になってきます。自然のことを考えても、やはり、タンザニアに住んでいたと言われていますが、あの辺は南緯2度くらいの所なので、そうとう赤道に近く、日照時間も長く、環境としては良い環境ではありません。しかし、当時としては地球上において、一番良い環境だったと思います。もう一つは、タンザニアの近くにキリマンジャロ山があります。標高は5895mというのですから磐梯山の3倍くらいあります。当時は、人間が食べ物を作るということは無いのですから、自然の物を食べるので、高い所は高いなりの動植物が住めるし、低ければ低いなりの動植物が住めるから、食べ物を考えても、高い山があるというのは食べる物が豊富だと考えられます。やはり、タンザニアにいた人が生き残ったのではないのでしょうか。生き残らなければ我々はいないわけですから。一番は人間が食べ物を作ったということです。そうなれば当然灌漑農業ということになるので、ただ単に種もみを土に蒔けばいいというものではなく、水をやらなくてはなりません。そうすると、川があって川の土手というか、近辺に土地をもって、麦を生産して、人口が増えます。そうするとまた畑を作ります。また人口も増えて、メソポタミアやエジプトにいた人たちが、インドに流れていくわけです。東南アジアに行くと小麦は気候的に合わなくなります。なにか合う物を考えた時に米を発見して米に代えて、どこの土地に行っても種もみさえあれば、また、食料に変えることはできるので、食料を作ったというのが、アフリカから日本まで来れた理由だと思います。食料を持って移動しやすくなるし、人間が食べ物を作れるようになったというのが一番の大きな要因だと思います。

しかし、なんでアフリカなのかというこれだという決め手が無いのです。今なら、アフリカだったら暖かいと思うし、人間が我慢できる限界の寒さ、人間の持っている知恵で対処できた寒さだからアフリカだったと思います。他の所にもいたと思いますが、みんな死んでしまえば何の証拠もありませんし、生きているからこうやって足跡を辿ることができます。その足跡を辿ることもなかなか難しいのですが、我々のDNAは大体30憶くらいあります。ところがミトコンドリアDNAは1万5000くらいしかありません。それを分析するのは20万分の1になりますから、大変なことは大変ですが、ミトコンドリアDNAで追いかけた方が簡単ですし、掴みやすいということで、人の流れなどはミトコンドリアDNAでわかってきたから、色々なお話もアフリカに残っていたのだというお話もできます。我々の祖先はアフリカから来ているというのはわかっています。我々の細胞はブドウ糖をつくる細胞と酸素を使ってブドウ糖を分解するという2種類の細胞でできています。2つの細胞が合わさって一人の人間ができているというは考えにくいのですが、DNAを見ればそういう風になります。それではちょうど時間となりました。ありがとうございました。

◆ 閉 会 点 鐘 会長

■ 第7回理事会開催 12月5日(木) 13:30~「吉川屋」

《内 容》①国際交流フェスティバル決算について ②2020-2021 年度役員・理事選出(クラブ総会準備)について ③新春初釜について
④新年夜間例会について ⑤職業奉仕委員会事業について ⑥クラブ内の新会員研修会について ⑦東京銀座新RC主催中央区
築地川銀座へ「花もの苗」の植樹について ⑧ご家族同伴親睦旅行について ⑨1月の例会プログラム ⑩その他
《出席者》千葉政行、斎藤孝裕、菅野浩司、吾妻一夫、紺野容樹、生田目正志、大内勝行、佐藤真也、鈴木重忠、鈴木義明、安斎忠作
以上の会員